

06 ニセアカシア 桑園発寒通

桑園発寒通の街路樹には、ニセアカシアが使われています。桑園発寒通には、ほかにエンジュやクルミも植えられています。

ニセアカシア：マメ科の落葉高木。高さ約20mになる。ニセアカシアは成長が速く丈夫なため、世界中の多くの場所で公園樹、街路樹などとして植えられている。

ほかにニセアカシアが植えられた道路：琴似栄町通（旧国道5号から南側）など



05 エゾヤマザクラ 月山線（月山サクラロード）

月山線には、山の手橋から上流への遊歩道にエゾヤマザクラが植栽され、月山サクラロードと呼ばれています。月山線は北1条宮の沢通から右股通まで、琴似発寒川と並行して走る道路で、サクラの季節以外でも、涼しげな川のせせらぎの音を聴き、三角山のすそ野の深い緑を眺めながら通行することのできる、とても気持ちの良い道路です。

エゾヤマザクラ：バラ科の落葉高木。ほかにエゾヤマザクラが植えられた道路：左股通など



08 ナナカマド 山の手通

山の手通の街路樹はナナカマド。雪に映える赤い果実は、北国の冬の景観に彩りを添えてくれます。

ナナカマド：バラ科の落葉小高木。高さ約10m。全道で街路樹として盛んに使われており、札幌でも最も本数の多い街路樹。ほかにナナカマドが植えられた道路：琴似栄町通（旧国道5号から北側）、鉄工団地通、西野屯田通（JR函館線から南側）など



07 ベニバナトチノキ 都通



琴似本通の東側を平行に走る都通には、ベニバナトチノキが植えられています。6月ごろ、鮮やかな紅色の花をつけます。

ベニバナトチノキ：トチノキ科の落葉高木。



09 シダレヤナギ 下手稲通

下手稲通の街路樹はシダレヤナギです。枝先が優しく垂れ下がり、風に揺れる姿に風情が感じられます。

シダレヤナギ：ヤナギ科の落葉高木。高さ約15~25m。ほかにシダレヤナギが植えられた道路：北24条通など



今回ご紹介した街路樹以外にも、道路には実にさまざまな種類の街路樹が植えられています。歩く速さを少し落として、身近な緑である街路樹を近くで一度、じっくりと観察してみませんか。今まで見逃していた、木々の新たな魅力や、自分だけのお気に入りの道が見つかるかもしれません。

街路樹の育て方

街路樹は、生育空間が限られていえるうえに排気ガスにさらされるなど、生育条件に恵まれません。のびのび育てようとしても、同じ空間に電線などもあるため枝を広げられず、また、根が十分に広げられないため、強風による倒木もあり、やむなく剪定しているのが実情です。街路樹を育てるためには、その樹木が置かれている状況などをよく把握し、各種の維持管理作業を、それぞれの状態に合わせて適切に行っていくことが重要です。市では通常の維持管理作業のほか、新植や植樹ますの新設をはじめ補植・倒木の防止のための支柱強化・根

街路樹の維持管理作業

作業項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
冬囲い		←→								←→			
支柱補修		←→			←→			←→					
結束直し		←→			←→			←→					
ひこばえ・やご取り※1				←→									
剪定※1					←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→
病虫害駆除			←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→
補植※2		←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→
草刈		←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→
清掃		←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→

※1 ひこばえ・やご取り 根元や幹の部分から出る不定芽を取り除く
 ※2 補植 枯れ木の植え替えを行う

の発育成長を促すための植樹ます拡大・樹木の健康状態を調べる健康診断など、各種事業も行っています。